

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



ご参加ありがとうございます。
15時から開始します。
もうしばらくお待ち下さい。

Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン説明会

2022年5月27日（金）15時～16時半

5月27日 Urban Innovation TOYONAKA 説明会の流れ

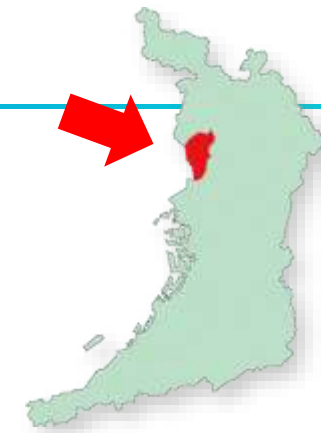
時間	内容	登壇者
15:00～15:10	事業概要説明(10分)	創造改革課 岡田
15:10～15:25	Urban Innovation TOYONAKA事業説明(15分)	事務局 吉永
15:25～15:45	各課題説明(各3分)	
	1. デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れめなく子どもの発達をサポートしたい！	こども相談課 橋爪
	2. NFTアート！？地域のクリエイターを後押しする仕掛けを作りたい！	魅力文化創造課 玉富
	3. 豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！ ～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～	健康政策課 岩崎
	4. 脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い相談ごとを『事前の整理』でスムーズに	建築審査課 橋本
	5. 行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！ ～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～	産業振興課 麻田
15:45～16:25	各テーマごとに質疑応答(ブレイクアウトルーム)	
16:25～16:30	全体QA&クロージング	事務局



豊中市
Toyonaka City

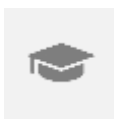
都市経営部 創造改革課

豊中市のご紹介



人口／約40万人 <中核市>
面積／36.6 km²

豊中市にある大学



大阪大学
大阪音楽大学

豊中市への交通アクセス



大阪国際空港



阪急宝塚線 大阪モノレール
北大阪急行線



名神高速道路 中国縦貫自動車道など



豊中市の魅力・特徴



教育文化都市

小中学校ではICT教育を進めるため2020年度に1人1台タブレット端末を導入



救命力世界一

救命講習修了者・救急隊・救急救命士数の面積割合が全国トップレベル



高校スポーツ発祥の地

夏の全国高校野球大会の前身である野球大会が豊中グラウンドで初めて開催



音楽あふれるまち

服部緑地に本拠地を置く日本センチュリー交響楽団や大阪音楽大学と連携



良質な住環境

全国的な人口減少の中「住まうまち」として選ばれ 人口は微増傾向に

市長のデジタル・ガバメント宣言を受け、R2年9月に
「とよなかデジタル・ガバメント戦略」を策定

遠隔対話ロボット実証実験へのフィールド提供

- 自律と遠隔のハイブリットによるロボット接客で、新たな市民サービスの形を模索。
- 非対面でも丁寧な対応ができる社会をめざす！



市内すべての児童・生徒へ1人1台タブレット配備

- 端末を利用して、授業や家庭学習で活用。
- 保護者と学校との連絡アプリを導入し、スマートフォン等で連絡が可能に！



デジタルで価値創造と変革＝「Reとよなか※」



- オンライン...手続き・相談のオンライン化対応を原則とします
- 利用者起点...利用者中心にサービス・働き方をデザインします
- 外部リソース...多様な主体との連携・外部資源の活用によりサービス等をデザインします

※「Reとよなか」は、デジタル技術により、社会課題を解決しつつ新たな価値を創り出し、サービス・しくみ・仕事のあり方を変革していく 有様を表しています

- 予算化・事業化に至っていないものの行政として解決したい地域課題は数多くある
- 行政の困りごとを発信し、課題解決に繋げる

協働の力で解決したい
地域課題を庁内で募集



今年度募集する課題 5 件

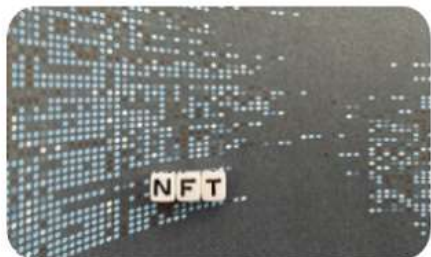


デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れめなく子どもの発達をサポートしたい！

こども相談課

保険・福祉・介護 # 子ども

残り26日



NFTアート！？地域のクリエイターを後押しする仕掛けを作りたい！

魅力文化創造課

文化スポーツ # 産業振興

残り26日



豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～

健康政策課

保険・福祉・介護

残り26日



脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い相談ごとを『事前の整理』でスムーズに

建築審査課

住宅・都市 # 建設・土木 # 窓口

残り26日



行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～

産業振興課

産業振興

残り26日

Urban Innovation TOYONAKA／アーバンイノベーション豊中として
協働で課題解決をめざすパートナーを募集

ご応募お待ちしております！



Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト

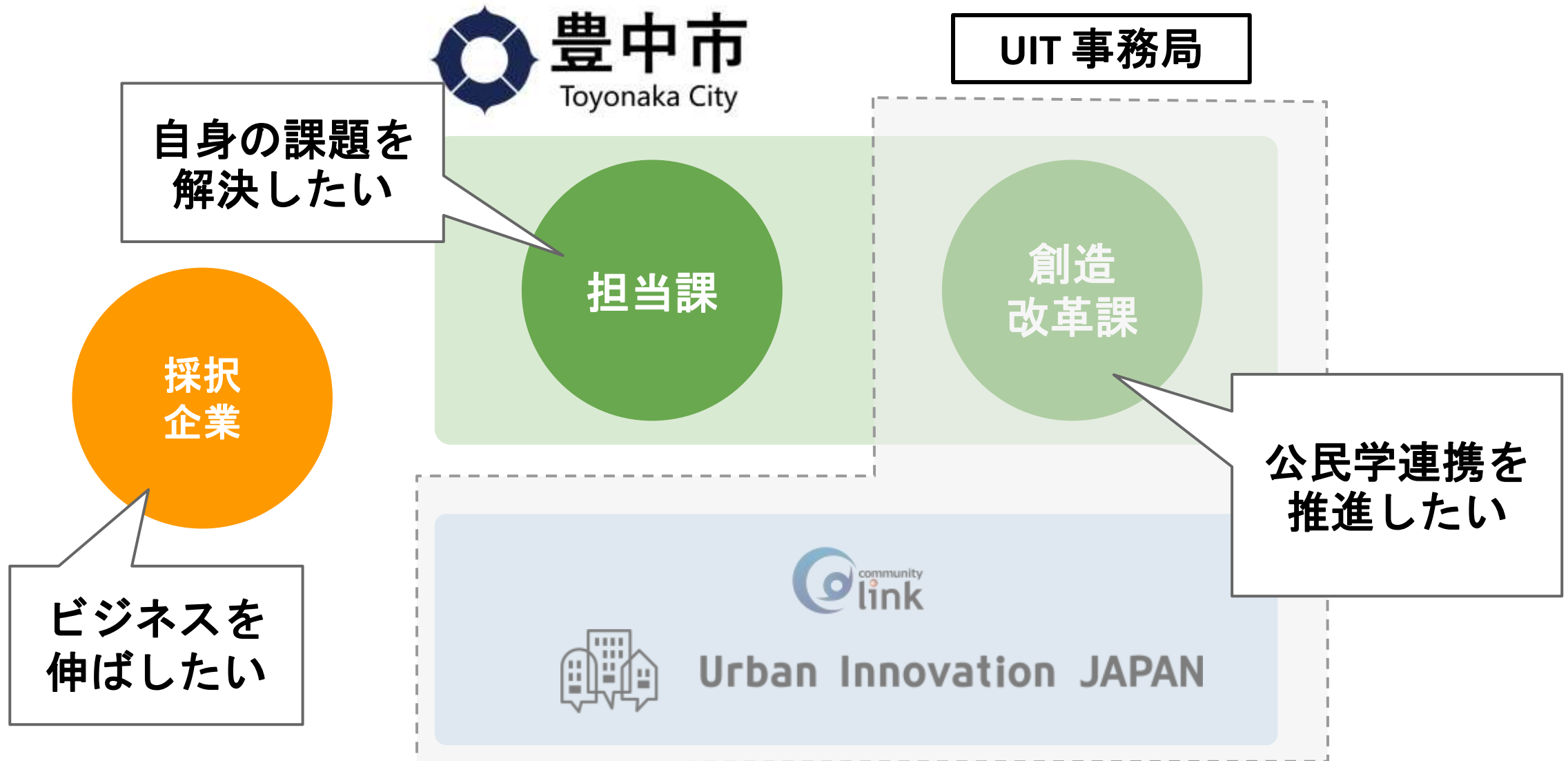


プロジェクト実施体制



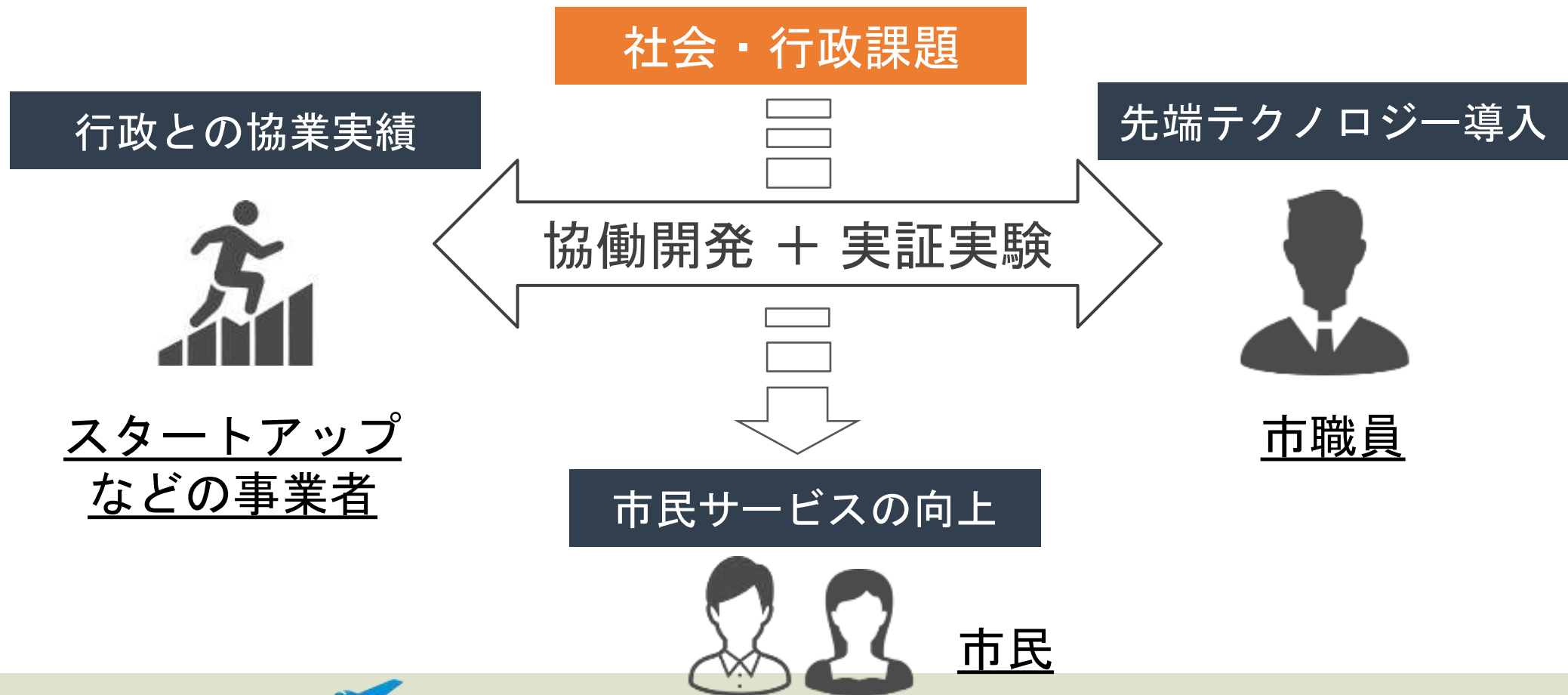
Urban Innovation JAPAN

プロジェクト実施体制



Urban Innovation TOYONAKAとは？

スタートアップなどの事業者と市職員が協働して
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、
スタートアップの成長と市の課題解決を目指す取り組み



Urban Innovation TOYONAKAの進め方

庁内課題募集



現場担当課の職員が手を挙げて、プロジェクトがスタート。

1ヶ月半程度

スタートアップ等 募集・選定



企業・スタートアップが興味を持ちそうなテーマ、市として進めたいテーマを選び、ウェブサイト公開。スタートアップの募集・選定を行います。

2ヶ月程度

実証実験



約4か月の協働期間で開発と実証実験を実施。解決策の有効性を検証します。

4ヶ月程度

製品化・本格導入



実証実験の結果を踏まえ、本格導入可否を判断します。さらにUIJが、他自治体への展開もサポート。

できるだけ早く

実施スケジュール



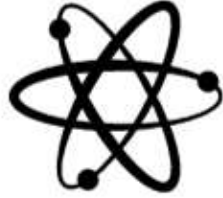
二次選考（zoom面談）の予定スケジュール

期間：2022/6/22-30

課題	担当課	日程候補(仮)
1. デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れめなく子どもの発達をサポートしたい！	こども相談課	・6/24 ・6/29PM
2. NFTアート！？地域のクリエイターを後押しする仕掛けを作りたい！	魅力文化創造課	・6/29 ・6/30
3. 豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！ ～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～	健康政策課	・6/22 ・6/23
4. 脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い相談ごとを『事前の整理』でスムーズに	建築審査課	・6/24 ・6/29AM
5. 行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！ ～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～	産業振興課	・6/22PM ・6/23AM ・6/24AM

※応募件数や諸事情により別の日時に調整する可能性もございます

Urban Innovation TOYONAKAで実現できること



テクノロジーの実証
社会実装



社会課題解決と
ビジネスの両立



GovTech市場への展開



ユーザーニーズの発見



地域・自治体との
パートナーシップ



自社サービスの認知UP
信頼獲得

自治体や行政の課題へのハードルを下げ、挑戦する人を増やしていきます。

3つのサポート



実証補助 最大50万円/課題



実証フィールドの提供



行政職員とUIJの
プロジェクトサポート

協働期間の流れ

1ヶ月目

方向性の決定
・週一度程度の
打ち合わせ
(+宿題)

- ・ 実証実験のゴールの決定
- ・ 週一回のミーティング
- ・ データ収集、市民へのインタビュー、現場視察など実施

2ヶ月目

α 版の開発
・アイデアの
ブラッシュアップ

- ・ スタートアップによる開発
- ・ テストの調整
- ・ プレスリリース準備

3ヶ月目

β 版の開発
・使いやすさの
向上
・デザイン・UIの
改善

- ・ スタートアップによる開発
- ・ テストの調整
- ・ プレスリリース準備

4ヶ月目

ユーザテスト
・実用性の確認
実証実験
・庁内調整・広報

- ・ 実証実験の立ち会い
- ・ データ調査、アンケート
- ・ 報告書作成



Urban Innovation JAPAN

スタートアップと行政職員が協働する課題解決プロジェクト

Urban Innovation Japanの広がり

Urban Innovation JAPANは神戸市から生まれ、
日本全国の自治体の課題とスタートアップ・民間企業をマッチングする
オープンイノベーション・プラットフォームです。



課題収集件数

391 件



企業公募課題数

142 件



応募企業数のべ

828 社



実証実験数

100 件



実証後の導入件数

52 件

2021年度からの展開

2021年度実績

参加自治体数 : **7 自治体** (累計15自治体)

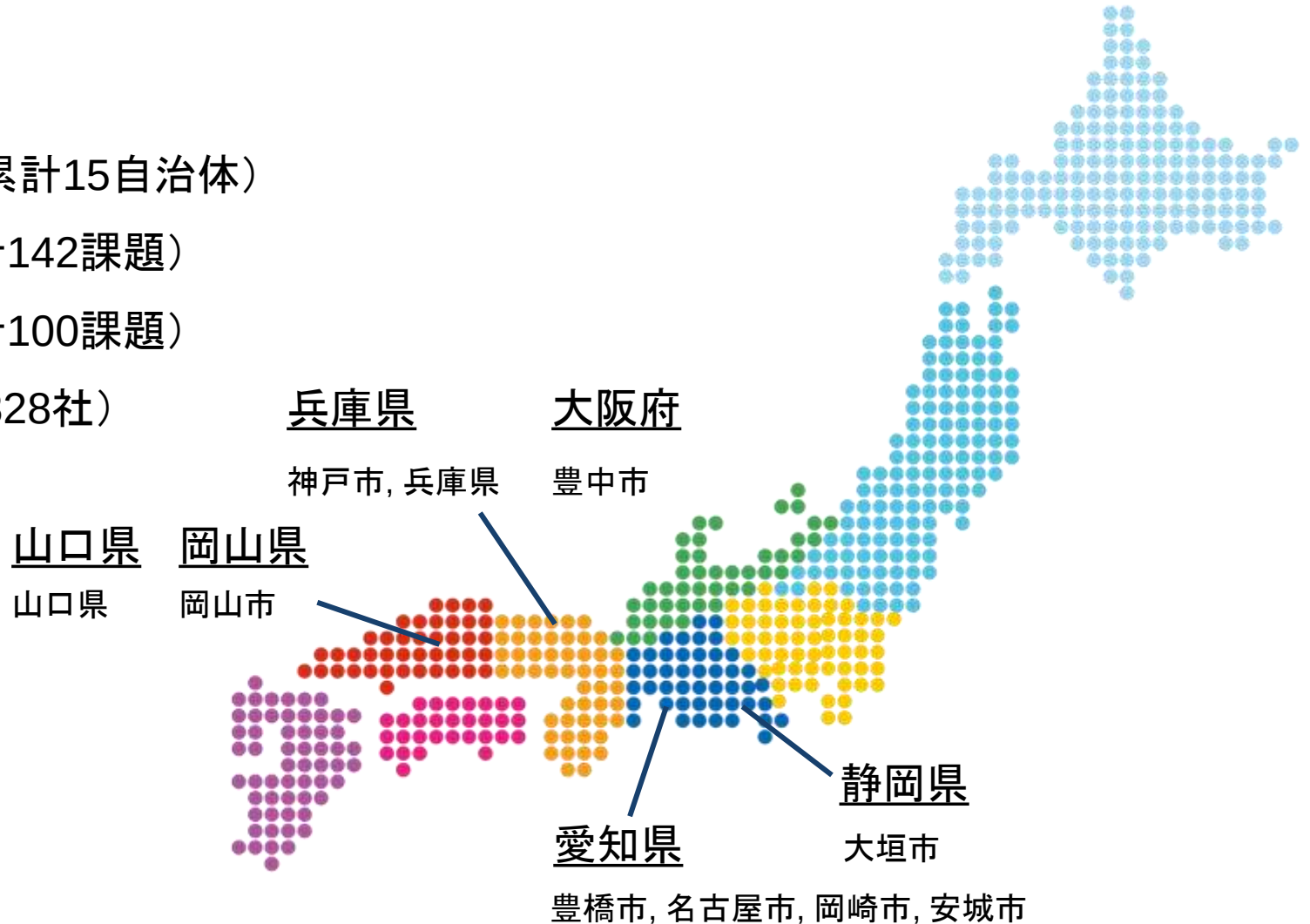
募集課題数 : **50課題** (累計142課題)

実証実験件数 : **38課題** (累計100課題)

応募総数 : **386社** (累計828社)

2022年度予定 (5月時点)

参加自治体数 : **9 自治体**



こんな企業のご応募をお待ちしています！

- ✓本気で社会をよくしたいと思っている
- ✓地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
- ✓リスクをとって事業拡大を目指している

デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、
切れめなく子どもの発達をサポートしたい！

こども相談課

1. 解決したい課題、実現したい未来①

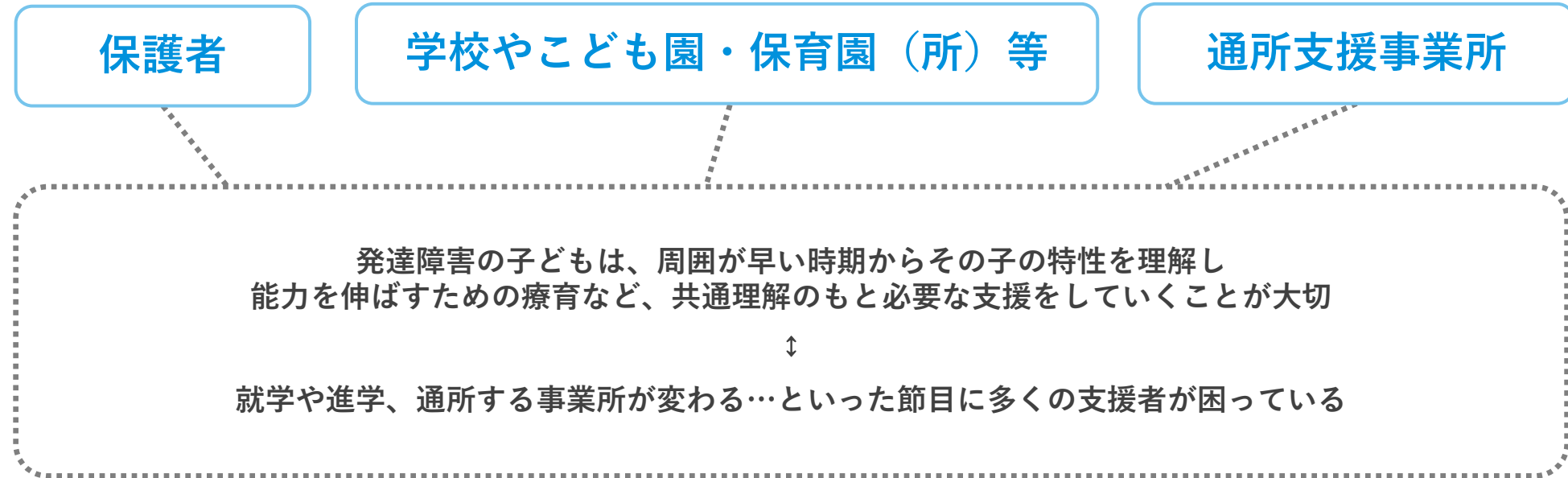


● 豊中市子ども健やか育み条例 子ども向けリーフレットより

1.解決したい課題、実現したい未来②

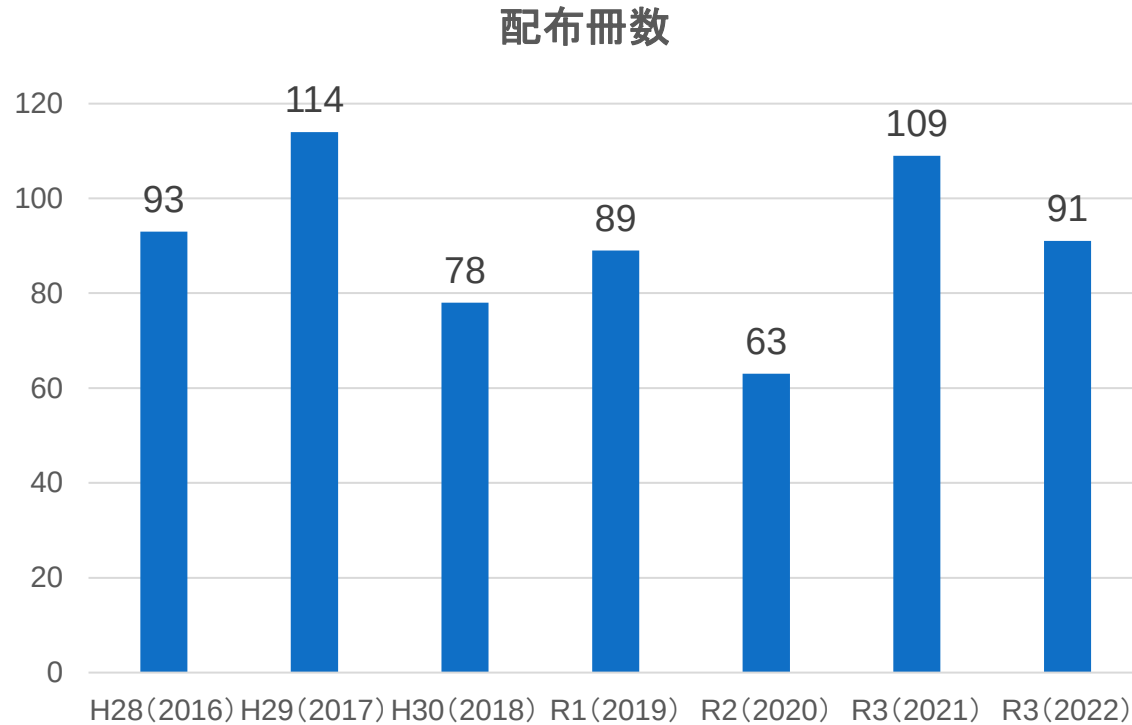


- 発達障害の子どもには、その子どもを取り巻く多様な支援者がいる



- 子どもを取り巻く支援者が、成育歴や支援内容の情報を共有することで子どもが最適な支援を受けられるようになり、支援者側の負担も軽減される未来

2.これまでの取り組み



- A4サイズのファイルに 紙の様式を綴じ、支援手帳として希望者に配布
- 年平均配布数 約 90冊（こども相談課・障害福祉課・児童発達支援センター窓口にて）

3.今回取り組みたいこと

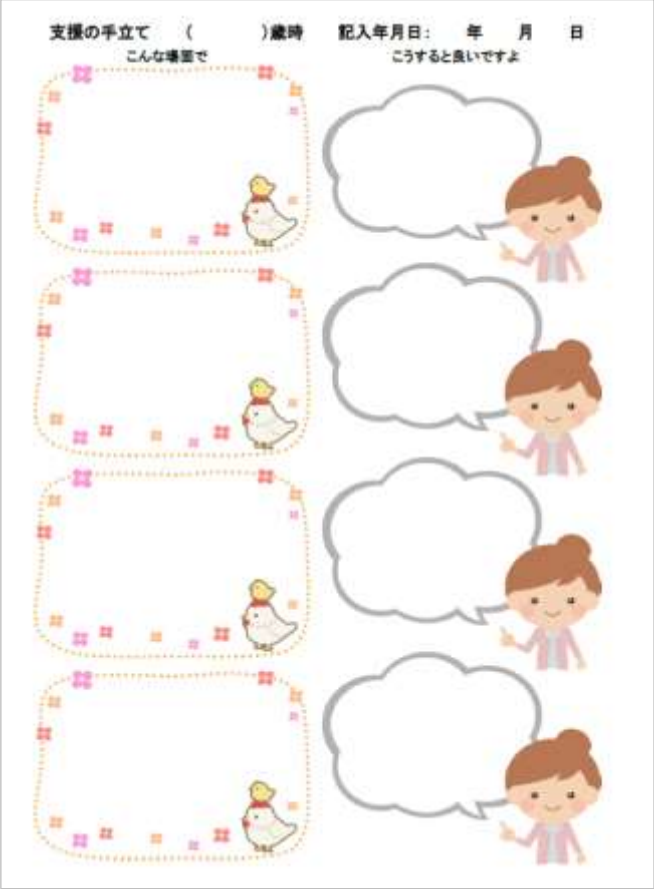
フェイスシート①

（プロフィール）

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
	ニックネーム（ ）	性別		血液型	☐ A ☐ B ☐ O ☐ AB ☐ 不明 (☐ Rh+ ☐ Rh-)
住所	〒	—			
電話番号		自宅			
		日中			
		携帯			
障害や病気： 肢体・聴覚・視覚・発達・知的・病気など					
薬：					
アレルギー： ある・なし 食事・薬物・その他					
安全面：必要な配慮					
取得手帳情報	手帳の種類	障害名・病名	種別・等級	取得日	
	身体障害者手帳			年 月 日 ()歳	
	療育手帳			年 月 日 ()歳	
	精神障害者保健福祉手帳			年 月 日 ()歳	
	特定疾患医療受給者証登録者証			年 月 日 ()歳	
	小児慢性特定疾患医療受給者証登録者証			年 月 日 ()歳	

支援の手立て（ ）歳時 記入年月日： 年 月 日

こんな場面で こうすると良いですよ



保護者から伝えたいこと（ ）歳時 記入年月日： 年 月 日

コミュニケーション	ことばの理解	
	伝える方法	
人との関係	おとな	
	子ども	
本人の得意なこと		
気を付けてほしいこと		
（家族の願いや思い）		

- 支援者が子どもの成育歴や支援内容を共有できるオンラインツールの開発
- 現在の様式の項目も見直すことで、支援者にとって簡単・便利なツールにしたい！

4.実証実験で達成したいゴール

① 支援者ニーズの把握・整理

- 必要な項目について、改めてユーザー（支援者）視点で再構築
- ヒアリングを通じて、ニーズを把握・整理したい

② 支援者が使いやすいシステムデザイン

- 要点を落とさず、支援者の入力にかかる負担を可能な限り削減
- デザイン面での工夫（シンプルさを重視）

③ 情報セキュリティ要件の整理

- それぞれの支援者の権限設定について検討・要件整理

NFTアート！？地域のクリエイターを 後押しする仕掛けを作りたい！

魅力文化創造課

1.解決したい課題、実現したい未来

- クリエイターと市役所のつながりをつくり、市の魅力発信や文化振興にクリエイターの力を活かしたい
- 豊中のクリエイターの活躍の場を広げ、文化芸術豊かな魅力あふれるまち・豊中と一緒にづくりあげていきたい

2.これまでの取り組み

助成金制度

- 文化芸術活動や市の魅力発信につながる活動が対象
- 市民活動団体やアーティストに助成

公募美術展や企画展示

- 日本画や洋画など7部門の公募展（豊中市美術協会と共催）
- 若手アーティストの企画展 など

3.今回取り組みたいこと

出会う

- NFTアートへの関心を高めるワークショップやアイデアソンの実施
- 豊中のクリエイターが集まる場をつくる

つながる

- クリエイターと市民、企業、市役所が交流する
- クリエイターと市役所がつながる仕掛けをつくる

つくる

- NFTアートを試すことができる仕組みをつくる
- クリエイターへの支援策や地域還元策を検討する

4.実証実験で達成したいゴール

クリエイターが集まり、つながる場ができる

- ・ 豊中の市民や企業、市役所とのつながりができる
- ・ 集まる場を自立的に運営していくことができる

クリエイターの活動の場が広がる

- ・ クリエイターがNFTアートを制作・販売・活用する
- ・ 市役所とのつながりにより、ふるさと納税返礼品への活用
の検討などが進む

豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！
～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～

健康政策課

1.解決したい課題、実現したい未来

背景

人生の最終段階で、医療やケアについて
自分の意思を周囲に伝えられていない人が約70%

課題

ACP(Advance Care Planning)の認知度が低い
ターゲット層（40-60歳代）への効果的な啓発

未来

誰もがそれぞれの希望する“幸せな最期”を迎えられること

自分の望む生き方を、
みんなと話し合ってほしいカメ



2.これまでの取り組み

市民全体

ACP

病気と共に生きる人々

死を意識した人々

《市民に対する啓発》

●市民向け出前講座を開催

テーマ

「シニアの方へ、幸せな人生最期を迎えるための
準備講座-医療編-」

●リーフレットを作成

「住みなれた豊中で安心して暮らすために
知っておきたいこと」

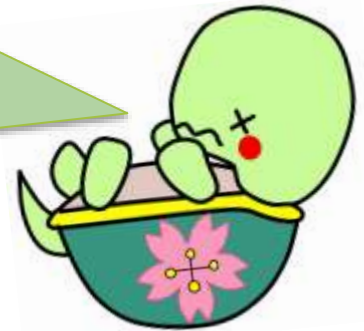


《現状》

◆参加者の多くは、70歳代

◆医療やケアについて話したことがない

◆「もっと早く聞きたかった」「子どもにも知ってほしい」との声が



3. 今回取り組みたいこと

**人生の最終段階における医療やケアについて、
家族や親しい人と話し合うツールを開発・バズらせたい！**

(カードゲーム、ボードゲーム、アプリ、テレビゲームなど)



4.実証実験で達成したいゴール

市民
インタ
ビュー

- ・ ACPについて、考えたい理由・考えたくない理由を分析・特定する

キーワード
分析

- ・ 看取りなどを経験した方から、ツール開発に必要なキーワードを掘り起こす

ツール
開発

- ・ 必要なツールの形態（カードゲームやボードゲーム、アプリ、テレビゲーム）の特定&収集したキーワードでツールを開発する



脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い 相談ごとを『事前の整理』でスムーズに

建築審査課

1.解決したい課題、実現したい未来

混み合った窓口を解消したい！

分野ごとに 専門
の担当者が対応

予約なしの
ため都度対応



多種多様な申
請・相談

専門的な相
談内容

スムーズな窓口を実現するしくみをつくりたい！！

利用者

- 来庁せずに必要な情報を調べられる
- 来庁前の担当者との調整で相談がスムーズ

市職員

- 窓口対応業務の効率アップ
- あらかじめ相談者との調整で対応がスムーズ

2.これまでの取り組み

1.窓口対応時間の短縮

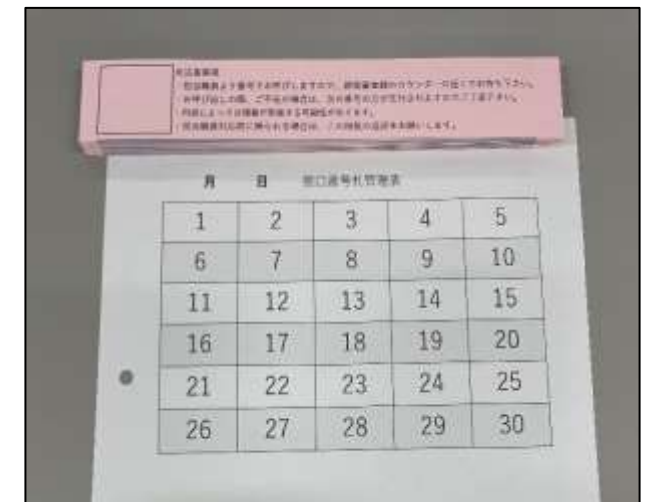
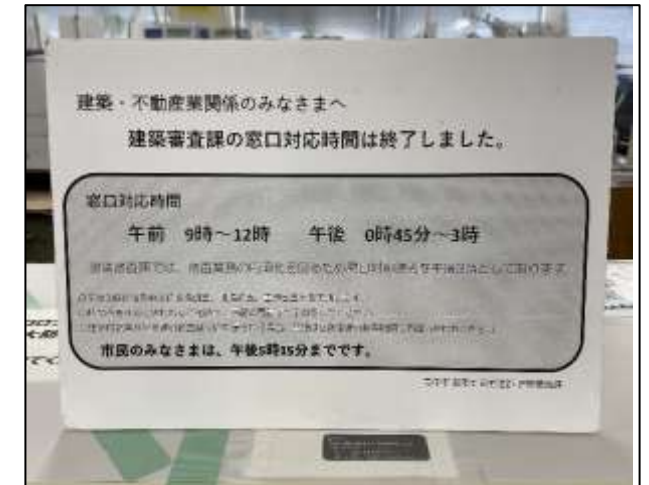
来庁される事業者へご協力をお願いを行っている。

2.番号札

窓口が混み合ってきた際に担当者への取次ぎをスムーズに行うことを目的に番号札の配布を実施。

3.手続きの電子化

令和4年度中にすべての手続きを電子申込できるよう進めている…



3.今回取り組みたいこと

1.相談や問い合わせの現状について『利用者の視点』から把握したい。

- ・どんな相談・問合せが多いのか？
- ・ホームページなどの案内はわかりやすいか？

2.仕組みやサービスをご提案いただき効果を検証したい

- ・わかりやすい情報提供の仕組みづくり
- ・相談内容を事前整理するような仕組みづくり
(端的に言う「前さばき」)

**窓口の混雑解消に向けて
取り組む改善策の方針を決定する**

行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！
～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～

産業振興課

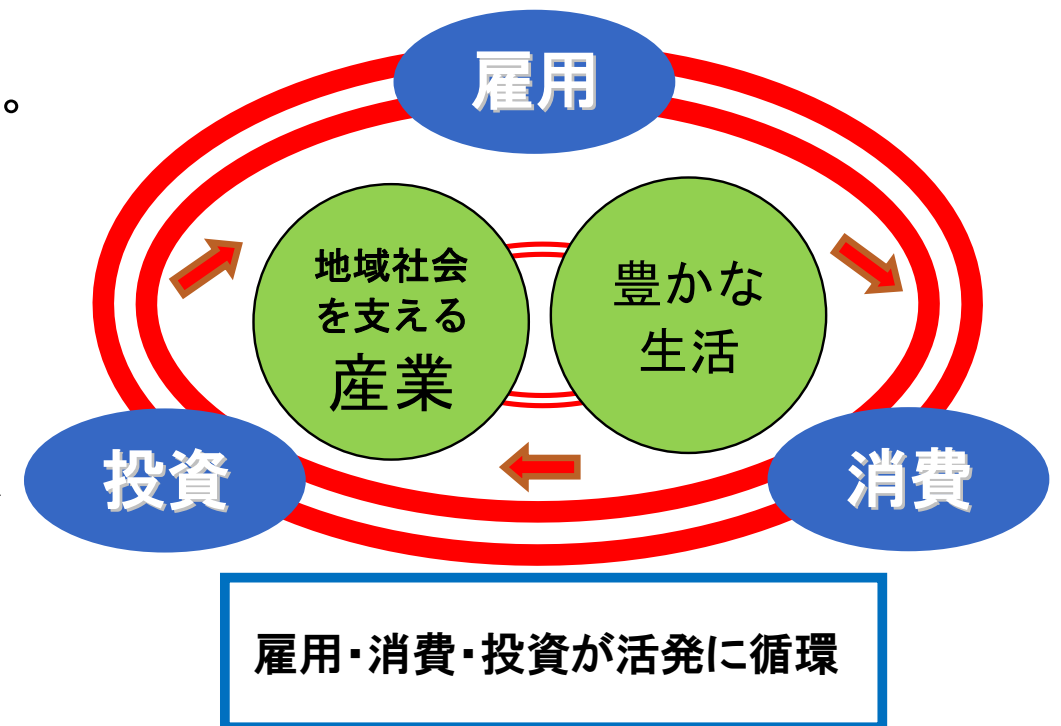
1.解決したい課題、実現したい未来

今後の産業振興の取組み 「豊中市 新・産業振興ビジョン」より

本市産業のめざす姿

産業が地域社会を支え、生活を豊かにする好循環を生むまち

- 地域社会を支える市内産業が活性化することは、「投資」を誘発し、「消費」の拡大、そして新たな「雇用」を生み出します。
- こうした流れは、都市活力の向上を通して、暮らしを豊かにするとともに、都市としての魅力を高め、人を惹きつけ、新たな投資を呼び込む好循環を生み出します。
- 40万人もの暮らしと産業が同居し、調和する本市だからこそ、このまちを舞台に新たな出会いや交流がもたらす創造と革新によって、豊中らしい多様な経済的価値を生み出し、自律発展・成長する都市をめざします。



2.これまでの取り組み

企業立地促進計画に基づく施策展開

○「企業立地促進計画（H30年1月）」を策定

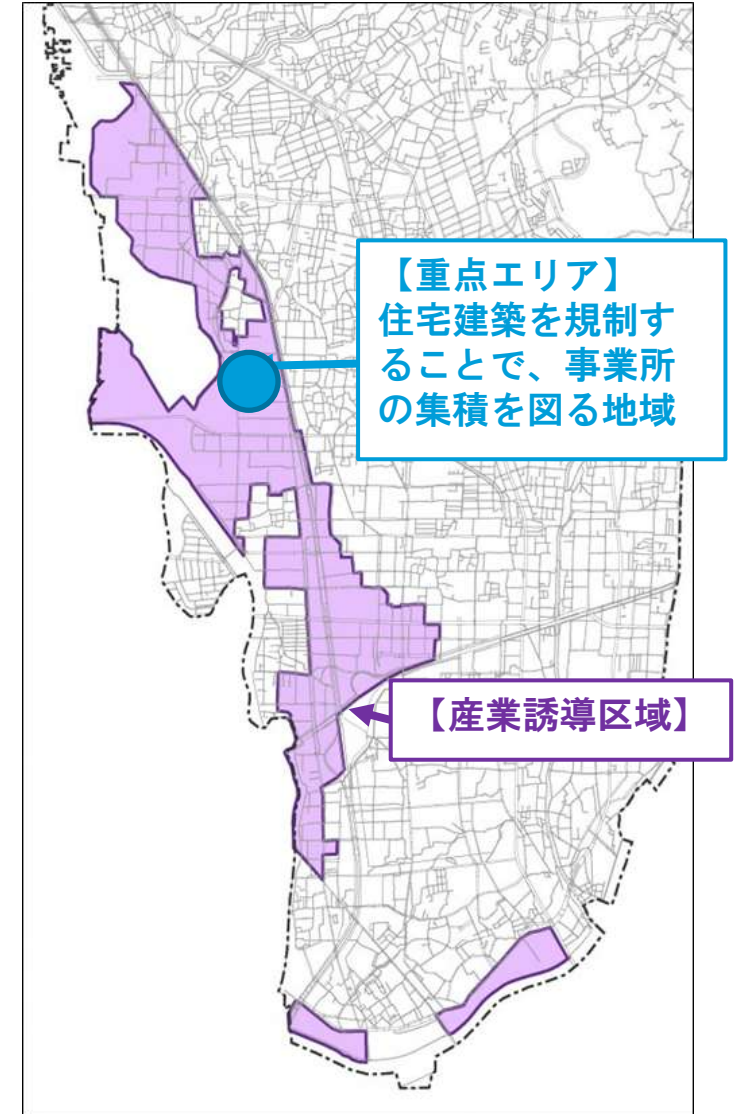
住工混在問題を防止し、住宅と事業者が共存・共生する、安定した操業環境の維持・形成を図っています

○地域特性に応じた「産業誘導区域」を設定

産業利用を誘導するため、奨励金など様々なインセンティブの付与を実施

○「産業誘導区域」の中でも、操業環境の維持・形成を最優先し、

支援制度の拡充と住宅建築の規制により、事業所の集積を誘導する
「重点エリア（工業保全地区）」（約2.8ha）を指定しました



3.今回取り組みたいこと

市政データのオープン化・ビジュアル化

○保有する平成20年以降の市政データをオープン化、ビジュアル化し、データ分析を容易にする基盤をつくりたい。



データを活用した施策の効果検証・支援制度拡充

○分析データに基づいた企業立地支援制度の効果検証・支援制度の見直し、拡充を行いたい。



4.実証実験で達成したいゴール

地域産業の活性化

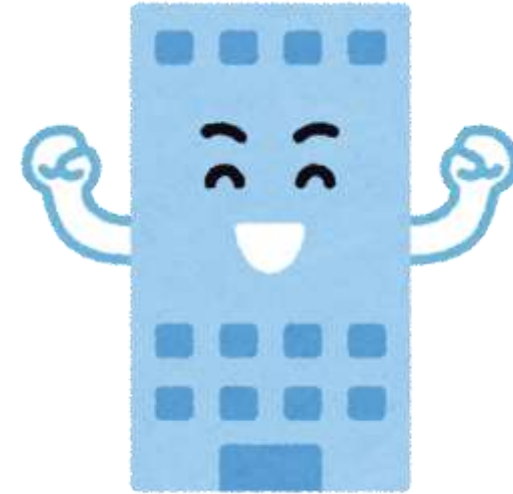
○市政データを活用した検証・制度拡充を行うことで地域産業の振興につなげ、雇用・消費・投資の循環を活性化させたい。

フレキシブルなデータ利活用を可能に

○この検証でデータ利活用の有用性を見出し、フレキシブルなデータ利活用を可能にできる体制・システムをしたい。

今回の試みがうまくいけば他市への並行展開も可能になると考えています。

皆さま是非ご応募ください！



お申し込み方法



Urban Innovation JAPAN

UIJとは

実証事例

過去の課題

自治体の方
はコチラ

お問い合わせ

企業の方
はコチラ

申し込み

豊中市 (大阪府)

豊中市は、連携に関するご提案やご相談を一括して受付する「公民学連携のワンストップ窓口」を設けています。これまで、キッチンカーやシェアサイクルの実証実験、小学生の見守りシステムの導入、民間企業との人材交流など、さまざまなチャレンジを進めてきました。文化の異なる多様な主体が、互いに知恵や知見を出し合いながら、次々現れるハードルを乗り越え、一つの主体だけでは不可能なことを可能にしていくな。それがまさしく、「公・民・学」連携の醍醐味だと考えています。今回は、アーバンイノベーション豊中の枠組みで、皆さまと一緒に市民サービスの向上のためチャレンジできることを、職員一同とても楽しみにしています。皆さまからのご応募をお待ちしています！



Urban Innovation TOYONAKA

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト

募集中



豊中市

06.12
まで

豊中市募集課題一覧

締切 2022年 06月12日 (日)

二次選考（zoom面談）の予定スケジュール(再掲)

期間：2022/6/22-30

課題	担当課	日程候補(仮)
1. デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れめなく子どもの発達をサポートしたい！	こども相談課	・6/24 ・6/29PM
2. NFTアート！？地域のクリエイターを後押しする仕掛けを作りたい！	魅力文化創造課	・6/29 ・6/30
3. 豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！ ～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～	健康政策課	・6/22 ・6/23
4. 脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い相談ごとを『事前の整理』でスムーズに	建築審査課	・6/24 ・6/29AM
5. 行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！ ～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～	産業振興課	・6/22PM ・6/23AM ・6/24AM

※応募件数や諸事情により別の日時に調整する可能性もございます

お問い合わせ先

- 運営

- NPO法人コミュニティリンク Urban Innovation JAPAN事務局
urban_innovation_japan@communitylink.jp